

『NHK「ザ・ヒューマン」』

3月6日にNHK E テレビで放送されたNHK「ザ・ヒューマン」をご覧になられた方はいらっしゃいますでしょうか。「立ち止まらない外科医」というタイトルで竹政順三郎会員のご長男の竹政伊知朗先生が取り上げられました。



竹政伊知朗先生は6年前に大阪大学から札幌医科大学に移られて、現在は消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座の教授としてご活躍です。大腸がんの外科手術をご専門とされており、我が国のロボット支援手術の第一人者とのことであり、札幌医大に赴任後、大学病院の大腸がん患者数が以前の4倍になったとのことです。

ご自身の外科主義が超一流であることはもちろんですが、一方でロボット支援手術の指導に関しても注力されており、後進の育成に国内外でご活躍であるそうです。

番組では中国での指導の様子が紹介されていました。

最近では映像技術の飛躍的進歩に伴い、手術画像を通しての遠隔指導が可能となっており、教授はここにも熱心に力を注いでおられるとのことです。術者にとっては画面越しであってもその道のプロフェッショナルから直接マンツーマンの指導を受けながら、手術ができることはどれほど心強いことでしょうか。3200Kmの距離を隔てた沖縄、琉球大学での手術を札幌から丁寧に指導されていました。

今後は、手術もロボット支援による遠隔手術が広まり、国内はもとより国をまたいだ治療が当たり前になる時代がもう目の前にきています。

本日は最先端の医療に携わっておられる竹政教授をご紹介させていただきました。